

技術交流事業報告

水産業改良普及所 糸 数 正

1. 課題名

ソデイカ漁業の技術交流

県漁連糸満加工場

糸満水産加工団地、糸満漁港

糸満漁協お魚センター

2. 目 的

大東地域はこれまで本格的なソデイカの操業は行われていない。しかし近海では糸満漁協等の漁船がソデイカを漁獲しており、時々地元船にも混獲されるソデイカがあり（北大東）、島内消費されている。

大東地域はまだ漁港が整備されておらず、南大東は船外機、北大東では船内外機の小型漁船をクレーンにより吊り上げて出漁している状況であり、現在の一本釣りではマグロ、サワラ、クロタチカマスを漁獲し島内消費に頼る程度であるため、漁業収益の向上は難しい。

去る1月に改善資金の面談、確認調査を兼ね、現地の漁業者の意向調査を行ったところ、ソデイカ漁業の漁法導入希望者が多かった。

このため、普及所で検討し、予定していたパヤオ漁業の技術交流に代え、南大東と糸満の両地域のソデイカ漁業の交流を実施することとなった。

よって、当該事業は、南大東島の漁業者に対しソデイカ漁業の技術習得、魚体処理技術の習得と糸満漁業者の南大東地域への出漁の安全（現在漁港建設中）のための人的交流を目的とする。

また、パヤオ漁業についても、南大東ではこれまでに2回敷設を行っているが流失しているため、その敷設方法等についても交流の目的に入れるものとする。

3. 交流先

糸満漁協青年部

4. 日 程

平成10年3月22日（日）

那覇空港到着後、普及所にて打ち合わせ。

糸満水産加工団地視察

糸満漁協お魚センター視察

糸満漁協パヤオ視察

平成10年3月23日（月）

午前6時より乗船実施

午後6時より交流会

平成10年3月24日（火）

漁連加工場にてソデイカ処理の研修

5. 参加者

南大東村漁業組合 宮 城 栄 蔵 67才

知 念 泰 弘 57才

喜友名 康 仁 57才

6. 交流内容

(1) 糸満水産加工団地、糸満漁港

- ・広大な埋立地と各種加工場、糸満新漁港を視察した。

(2) お魚センター

- ・各テナントに並んだ鮮魚、活魚、加工品等を視察した。

(3) パヤオ視察

- ・糸満漁協に置かれたパヤオを前に青年部から敷設についての説明を受けた。

(4) ソデイカ漁業実習

- ・乗船実習は上原正勝氏の勝丸をお願いした。
- ・出港前に漁具の仕掛けの説明、漁労器具の

説明を行った。

(5) 交流会

- ・普及所で糸満漁協青年部12名と交流会をもった。

(6) 漁連加工場視察

- ・ソデイカ漁獲後の処理、保管方法、輸送方法等について研修した。

○交流会参加者

南大東村漁業組合

宮 城 栄 蔵	67才
知 念 泰 弘	57才
喜友名 康 仁	57才

糸満漁協青年部

上 原 智 哲	39才	智丸
金 城 馨	38才	将丸
上 原 正 勝	43才	勝丸
上 原 弘	38才	弘丸
上 原 重 松	50才	弘福丸
上 原 仁	28才	丸進丸
大 城 和 夫	40才	和福丸
大 城 英 之	40才	之丸
川 口 善 永	40才	善丸
玉 城 守 也	35才	守丸
玉 城 剛	39才	第5幸丸
山 城 聡	39才	さと丸

普及所本部駐在

金 城 宏主任専技	56才
-----------	-----

普 及 所

糸 数 正主任技師	44才
-----------	-----

7. 所 感

今回の技術交流会により、参加者にとってソデイカの漁法、流通及びパヤオの敷設方法等について様々な情報を収集できた。

直に自分の耳で聞き、質問をしたことにより、貴重な体験ができたようである。

その内容について簡単にまとめた。

(1) 漁 法

- ・揚縄速度

大東で揚縄時にソデイカが切れ（バレ）たらしいが、ゴム（緩衝のため）は使っているとのことなのでホーラーの速度が速すぎるようである。

大東では幹縄にワイヤーを使っているが、ソデイカ用に糸満のようにアカナーを使う必要はないようである。

- ・オモリ入り釣り針

以前は糸満でも先端にオモリを付けていたが、現在は鉛を入れた疑似針を先端にしており、工夫がされている。

- ・電灯、ゴム等

集魚用の電灯、接続用のサルカン、緩衝用のゴム及びゴムの溶着器等について、各自細かい点について質問がなされた。

(2) 流 通

- ・魚体処理（内蔵除去等）方法

大東では日帰り操業であり、特に難しい問題はなく、背中部分の割き方、内蔵の除去、水氷の状態等について質問があったが、イカが鮮度持ちがよいことから、大東でも対応が十分可能である。

- ・げそ処分

げそについても袋入れにして漁連に送れば引き取ってくれるということになった。

- ・輸送方法

漁獲したソデイカを冷凍で保存し、概ね週1回の輸送船の冷凍コンテナに乗せ漁連に出荷することとなった。

(3) パヤオ敷設

- ・パヤオの設計（浮体と接続部等）

大東が入れた以前のパヤオと糸満のものとは形状、接続・結束等が異なっているので、新たに設計をし、再度敷設を検討したいとのこと。

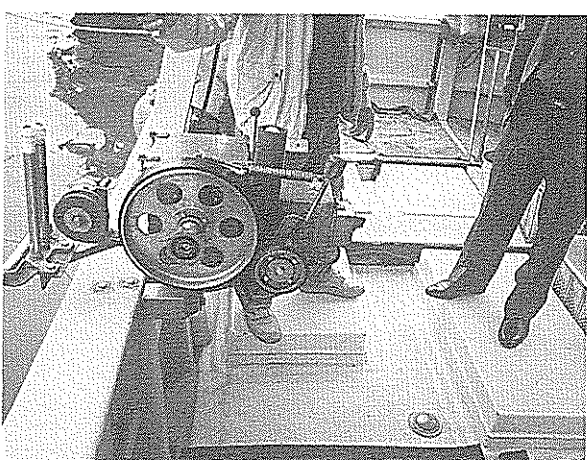
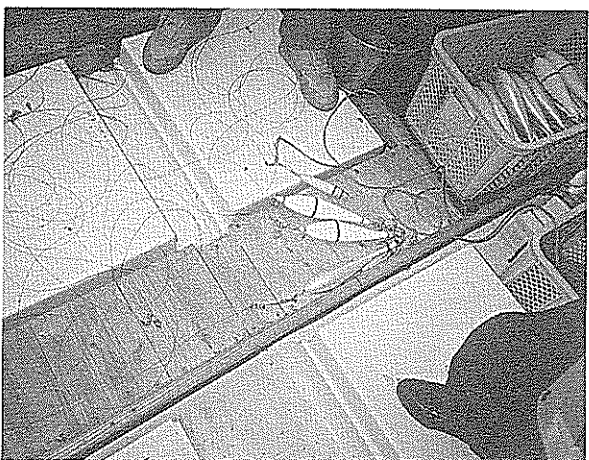
- ・アンカーの取り方

2～3本のアンカー設置も検討するとのこと。

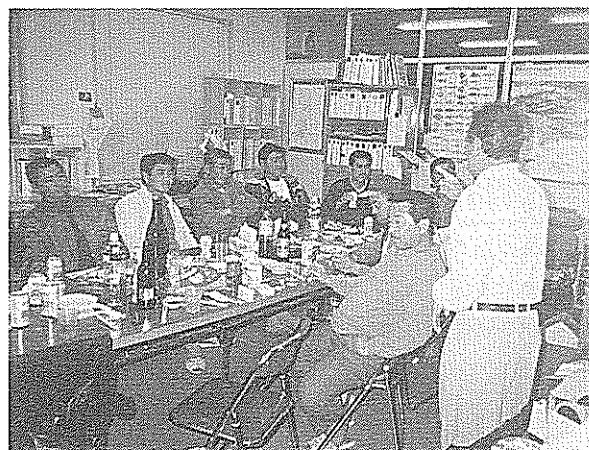
パヤオ漁業視察 (H10. 3. 22)



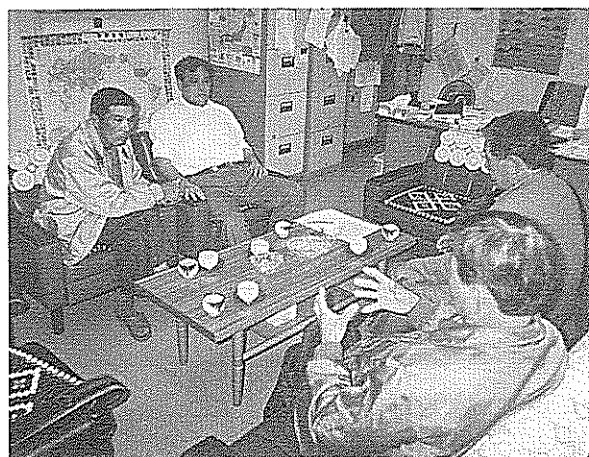
ソデイカ漁業実習 (H10. 3. 23)



技術交流会 (H10. 3. 23)



普及所長表敬 (H10. 3. 24)



県漁連加工場視察 (H10. 3. 23)

